

さまざまな表現技法 第一回

比喩^ゆ(直喻・隱喻・擬人法)

講師・羽場 雅希

◆今日の「ゴール

- ・表現技法を理解できる。
- ・自分の日本語をもつと工夫できそう!と思える。

◆ さまざまな表現法

比喩…ものごとをあるものにたとえ、印象を強める表現。

直喻…「～のようだ」「～みたい」「～の～とし」などの語を用いてたとえる。

例 ..たかのような鋭い目。
するど

チーフーのように足が速い。

隱喻（暗喩）：「～のようだ」などの語を用いないでたとえる。

例 ..彼女のひとみは夜空の星だ。
かのじょ

君は私の太陽だ。

擬人法：人でないものを人であるかのようにたとえる表現。

※比喩の一種だが、比喩と別にとりあげることもある。

例 ..お好み焼きの上でカツオ節がおどつている。

母なる海が私たちをやさしく包む。

深々と人間笑ふ声すなり

谷一面の白百合の花

北原白秋

きたはらはくしゅう



▶白百合

【第一問】次の詩を読んであとの問いに答へなさい。

木
草野心平くさのしんぺい

① 葉っぱをおとした

冬の木はいい

② はだかの木々のすがたはいい

③ ごつごつした古い木などはとくにいい

④ 強くておちついてじつにいい

⑤ しも霜柱にかこまれて

⑥ 寒さのなかにたつて
いる

⑦ はだかの木々の美しさ

⑧ 枝々や幹のなかを

⑨ 力が流れているような気がする

⑩ 夢がいっぱいいつまつてるような気がする

⑪ 白いほのおが燃えてるような気がする

問 ⑩～⑫に使われている表現技法を、次から一つ

選びなさい。

ア、直喩 イ、隠喩 ウ、擬人法 エ、反復

【第二問】次のA、Bの短歌に関する以下の
問い合わせに答へなさい。

A. 深々と人間笑ふ声すなり谷一面の

白百合の花

北原白秋

B. 金色こんじきのちひさき鳥のかたちして

銀杏いちょうちるなり夕日の岡に 与謝野晶子

(1) Aの歌について述べた次の文章の空欄らんに
あてはまる言葉を書きなさい。

「()が風に揺れる音」を、
「深々と()」にたとえてい
る。これは人間社会のせせこましさを笑つて
いるのである。

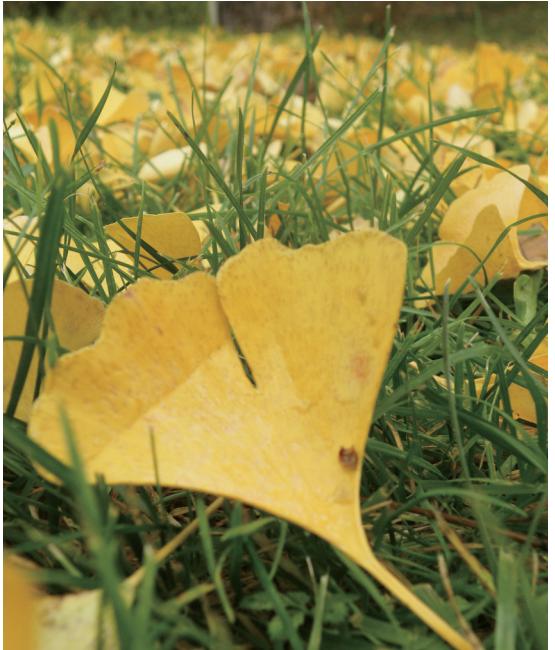
人間でないものの人間であるように表現し
ている()が使われている。

(2)

Bの歌について述べた次の文章の空欄にあてはまる言葉を本文から書き抜きなさい。

この歌では隠喻技法が使われている。

「（　　）の葉」を
「（　　）」にたとえている。



▲イチョウの葉



▲イチョウ並木

■イチョウの葉：作者名：マリヤ・ガジッチ 作品名：Ginkgo biloba 11 (10)

URL : [https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Ginkgo_biloba_11_\(10\).JPG](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Ginkgo_biloba_11_(10).JPG) CC-BY-SA

■イチョウ並木：作者名：柴田拓 作品名：北海道大学銀杏 - panoramio

URL : https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Ginkgo_at_hokkaido_university_-_panoramio.jpg CC-BY-SA